

第1学年 道徳学習指導案

1 主題名 「二わのことり」 友達を思う心（友情・信頼）

2 ねらいとする内容項目について

性格や能力は人それぞれに違っているが、相手の立場に立って考えるところから信頼が生まれ友情が育ってくるのは言うまでもない。対人関係がまだまだ未熟な1年生といえども、相手を思いやり友達を大事にしようとする心情を育てることは大切である。

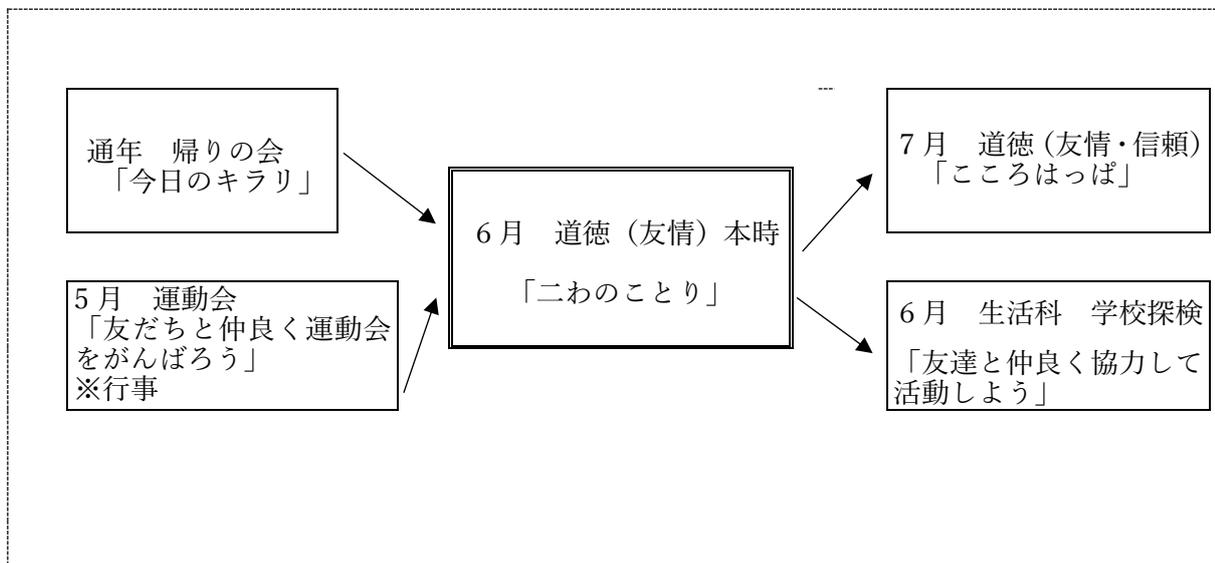
3 題材について

本主題の内容項目B-9は「友達と仲良く思いやりをもって助け合っていこうとする心情を育てること」をねらいとしている。対人関係がまだまだ未熟な1年生といえども、相手を思いやり友達を大事にしようとする心情を育てることは大切だと考え、本主題を設定した。

本学級の児童は、学校生活にも慣れ始め、困っている友達に手助けしたり、休み時間には折り紙で作った作品を交換し合ったりするなど、仲良く過ごすことができている。一方で、まだ相手の立場になって考えることができず、自分の考えを相手に押しつけ、トラブルになることがある。友達との関係を良好なものにしていくために、相手の立場になって考え、友達を大切にしようとする心情を育むことが必要である。

そこで、本学習では、児童が教材の内容を十分に理解できるように、場面絵を活用する。特に、登場人物の状況や立場を理解できるように、場面絵に吹き出しを入れて工夫する。また、お面やペープサートを使って役割演技をすることで相手の気持ちを考えるとともに、自分の思いを表現しやすくする。さらに、体験的な学習活動を通して、友達の喜びが自分の喜びになることへと学びを深めさせ、相手を思いやり友達を大事にしようとする心情を育てていきたい。

4 内容項目との関連



5 本時の指導

(1) ねらい

- ・二わのこたりの気持ちを考えることで、友達と仲良くし、思いやりをもって助け合っていこうとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

- ・ 掲示用場面絵 ・ ワークシート ・ 役割演技用お面 ・ ペープサート

(3) 展開

主な流れと予想される児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・手立てや留意点、◎個に応じた支援 ○考えや思いを発信するための手立て
<p>1 友だちとは何かを想起して、価値への方向付けをする。</p> <p>○友だちってなんですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい人 ・いっしょに遊ぶ人 ・分からないことがあるとき、教えてくれる人 ・クラスの人 ・いない <p>2 教材を読み、学習課題について考える。</p> <p>「二わのこたりの」の登場人物、条件、状況を知り、教師の読み聞かせを聞きながら、みそさざいを中心に話し合う。</p> <p>「みそさざいは、どちらにしようか迷いました。」</p> <p>○みそさざいは、どちらに行くと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっこうの家に行った ・やまがらの家に行った <p>○みそさざいは、どうしてどちらに行こうか迷ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うぐいすの家は、あかるく、きれい。 ・やまがらの家は、山奥で寂しい。 ・うぐいすの家で音楽会の練習がある。 ・みんなと一緒にの方が、楽しそうだから。 ・一人で行くのは、嫌だから。 <p>「みそさざいは、うぐいすの家で、うたっていても、ごちそうを食べていても、たのしくありません。」</p> <p>◎みそさざいは、うぐいすの家でどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらが待っているかな。 ・みんなこっちに来てしまったので、やまがらは一人ぼっちだな。 ・誕生日に、一人ぼっちはかわいそうだな。 ・やっぱり行かなくて悪かったなあ。 <p>○みそさざいは、どうしたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く ・行かない <p>3 役割演技を行う。</p> <p>「やまがらは、涙を流して喜びました。」</p> <p>○みそさざいはどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師がやまがら役になり、子どもがみそさざい役で、役割演技をする。 <p>Y：よく来てくれましたね。</p> <p>M：当たり前だよ、友だちなもの。</p> <p>Y：とってもうれしいよ。これからも仲良くしてね。</p> <p>M：遅れてごめんね。二人でお誕生会をしよう。</p> <p>M：やっぱり来てよかった</p> <p>4 自分の体験を振り返って話し合う。</p> <p>○みなさんはさみしい思いをしたことはありますか。</p> <p>○みなさんはこれからどうしますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とは何かを想起して、本時の道徳的価値への方向付けをする。 ・自分のまわりにはたくさん友達がいることに気づかせるようにする。 ◎いないと答えた児童には、休み時間や、授業時間の様子を思い浮かべるよう伝え、自分のまわりにはたくさん友達がいることに気づくことができるようにする。 ・みそさざいの心の変化を板書で整理することで、自分の考えを持てるようにする。 <p>○右手は「行かない」、左手は「行く」、迷う人は両手を挙げるよう伝え、全員が意思表示できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそさざいの気持ちに共感させたい。 <p>○右手は「行かない」、左手は「行く」、迷う人は両手を挙げるよう伝え、全員が意思表示できるようにする。</p> <p>○役割演技の前にワークシートを記入し、言葉を整理させることで発表しやすくする。</p> <p>(評) やまがらを思いやるみそさざいの気持ちを考える言葉や自分の生活と重ね合わせた記述、発言をしている。(ワークシート)</p> <p>【目標を達成した児童の姿】</p> <div data-bbox="823 1480 1406 1626" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワークシートへの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来てよかったな。 ・誰も来ないのはかわいそう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・みそさざいの喜びに気付いているつぶやきがあったら認め、称賛する。 <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を通して、体験を基に、自分の生活とつなげて深めた考えを書くことができるようにする。 ・相手の気持ちを考え、互いに助け合おうとする意欲を高める。